

最適残響時間の検討

利用目的別最適残響時間(当社推奨値)

(500Hz・空室時)

利用目的	音の状態・利用範囲	容量(m ³)	最適残響時間
リハーサル・多目的ホール	各種イベントに対応できるよう音響調整された室	5,000～10,000	0,8～1,0
録音・放送スタジオ	定住波等が防止されて正確な録音・放送の出来る室	70～100	0,3～0,4
音楽室	音感・発音など音楽教室に最適な室	200～300	0,7～0,9
視聴覚室	全体に明瞭度の高い音が聞ける室	200～300	0,5～0,7
体育館兼講堂 (ステージ付)	ステージ利用の観点から様々な音響弊害を少なくして聞きやすさにポイントをおいた室	5,000～25,000	1,3～1,5
体育館・室内競技場 (ステージなし)	体育競技・講演・イベントなど用途に応じ考えられた室	5,000～25,000	1,5
大講義堂	どの席でも講師の声が正確に聞こえる室	1,000～1,500	0,9～1,3
学校教室	どの席でも音声が聞きやすい室	200	0,6～0,7

